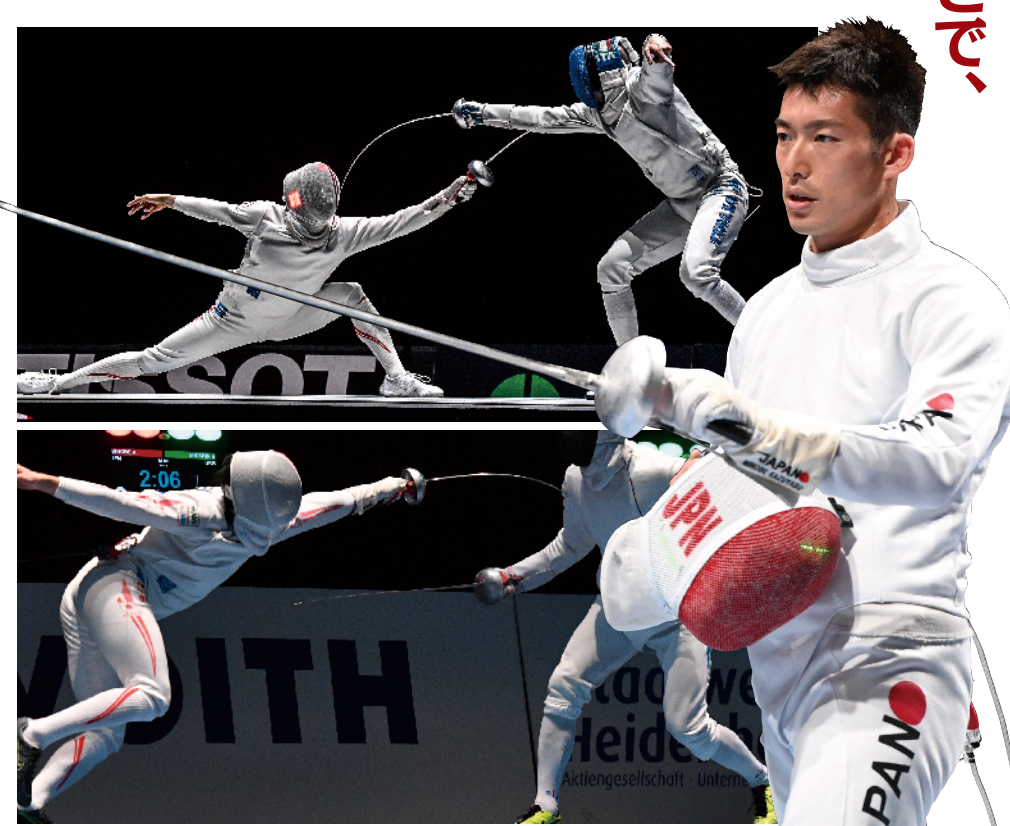




これまでの先輩たちの思いも受け継ぎ、
日本をフェンシングの強国へ

見延和靖選手 フェンシングエペ団体東京2020オリンピック金メダリスト



赤が見延選手 ©日本フェンシング協会: Augusto Bizzi/FIE

一歩踏み出すことで、可能性が広がる

東京2020オリンピックのフェンシングエペ種目の団体で金メダルを獲得した見延選手。小学生の時は空手、中学生の時はバレーボールを夢中でやっていた、フェンシングは高校生になって始めたそうです。きっかけは、中学3年生の時にお父さんに勧められて行ったフェンシングの体験会でした。「剣を持つのも初めてなのに、とてもワクワクしたのを覚えています。この競技自分にあっているかも、と感じましたね。一つの競技をやり続けることも素晴らしいですが、新しく挑戦することで、自分の可能性が大きく広がることもあります」といえるような競技を行うことの意義や、何事も新しい一歩を踏み出すのは勇気がいるけれど、とても大切であることを話してくれました。

相手を認め合うことで、チーム力を高める

2016年のリオオリンピックの男子エペ種目は、日本からは見延選手のみが個人戦で出場。6位入賞の好成績を取りましたが、団体戦にも出場する他国を見て、チームで支え合いながら戦うことの価値を実感

したそうです。東京2020オリンピックに向けては、日本がチームとして強くなることを意識しました。団体戦に選ばれる選手は、個人戦ではお互いが戦う相手でもありません。そういった中でも、他の選手にアドバイスしたり自分の経験を伝えたりしました。特に、相手を認めることの大切さは、よく話しましたね。そうすれば相手も自分を認めてくれる。そうして尊重しあえるチームメイトが全力を尽くし切磋琢磨することで、みんなで成長できたと思います。また、金メダルは一つの通過点とも話してくれました。「これまでの先輩たちの努力があったから、僕たちは世界と戦える技術を磨くことができました。それを後輩にもつなげて、日本をフェンシングの強国にしていきたいですね。」



「フェアプレイ宣言」しました!!



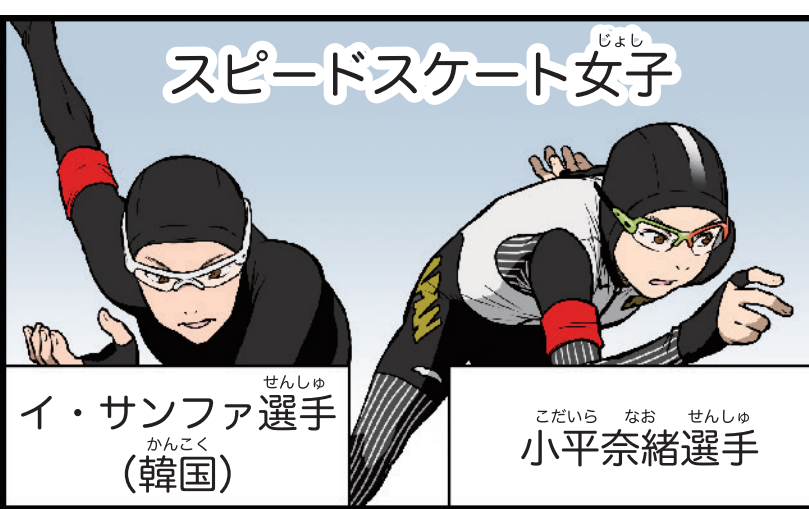
フィギュアスケートは1908年のロンドン大会で行われました。冬季オリンピックが開催される前に、ロンドンに登場したヨーロッパ初の室内スケート場で実施されました。

【答え】A

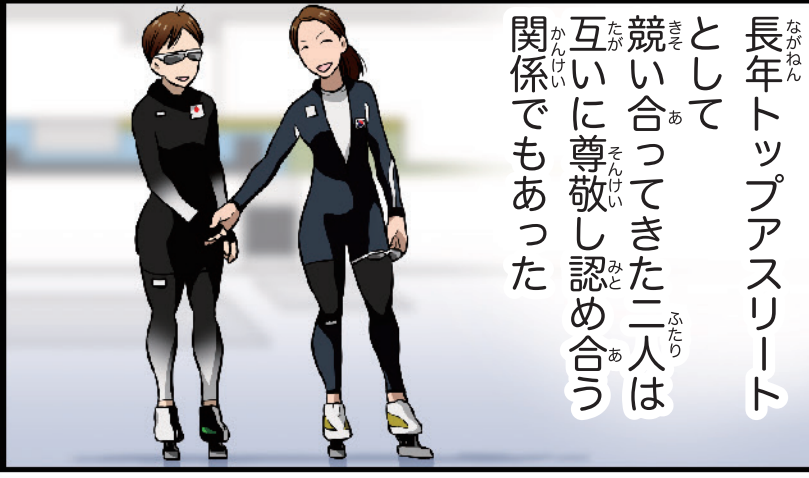
問題 **最初の冬季オリンピックは1924年に開催されましたが、オリンピックでフィギュアスケートが初めて行われたのは、いつでしょう?**
A 1908年 B 1924年 C 1932年

勝敗を超えた友情

〈女子スピードスケート〉小平奈緒選手



イ・サンファ選手 (韓国) 小平奈緒選手



長年トップアスリートとして競い合ってきた二人は互いに尊敬し認め合う関係でもあった



二人は一緒にリンクを二週間

勝敗を超えた友情に拍手が鳴り止まなかった



そして迎えた2018年平昌オリンピック500mレース

「韓国語で「よく頑張ったね」結果は小平選手が優勝、サンファ選手が2位に

これはお互いから学び、励まし、励まされ、選手として人と成長してきた私たちが表すメッセージだと感じました

小平選手とサンファ選手のフェアプレイストーリーはフェアプレイニュース vol100 にも載っているよ下のサイトにアクセスして見てね